

令和4年度 講座等企画団体助成事業

事業報告書 (ホームページ公開用)

講座名	2022年女団協連続講座・シンポジウム 復帰50年 ～未来へつなぐ女性の活躍を語ろう～
日時	令和4年9月23日(金・祝日) 14:00～16:00
目的	連続講座を通して、男女共同参画社会の発展に寄与できる力をつけたい
対象	加盟団体会員及び市民・県民のみなさん
講師	総合司会/狩俣倫太郎さん(RBCアナウンサー) 基調講演/ 東門美津子さん(元沖縄県副知事) コーディネーター/大城貴代子さん(おきなわ女性財団理事長) パネリスト/ 宮城晴美さん(新沖縄県史編集委員会副委員長) 比嘉瑞己さん(沖縄県議会議員) 瀧辺美紀さん(沖縄経済同友会代表幹事) 新垣綾子さん(沖縄タイムスデジタル編集記者)
会場	沖縄県男女共同参画センター ているるホール
定員	200名
参加者数	103名
講演内容(概要)	東門美津子さん「副知事 衆議院議員 沖縄市長としての働きの中で女性たちの力 人との出会いの大切さを思っている。」 大城貴代子さん「1967年の女団協(当時は婦団協)結成の際の女性たちのパワーと活動に目を見張った。」 宮城晴美さん「戦後の沖縄の女性史をまとめるときに女団協(当時は婦団協)の活躍を外しては記録ができない」 比嘉瑞己さん「子ども医療費助成について那覇市議会で初めて発言したのが瀬長フミさんで、女性の皆さんが男性も一緒に頑張ることで政策も大きくなっていったんだと知った。」 瀧辺美紀さん「女性が先頭にいると後からの女性が続きやすい。女性の判断や感性がもっと生かせる環境ができていく。」 新垣綾子さん「ジェンダー平等に配慮した表記の変化など、メディア自身が日々の取材や報道を検証し、アップデートすることがかかせない」
参加者の声	・これまでの女性の活躍、苦勞しながらも目標に向かっていくことに感動しました。女性自身が勇気とやる気・問題提起をし、行動していくことの必要性を感じました。パネラーの皆さま、東門さんの基調講演はとても有意義な内容でした。ありがとうございました。 ・東門さん 大城さんといった 大センパイのエネルギーをつくづく感じました。復帰後の激動の時代をリアルで過ごされてきた方のお話は重みがあり、とても胸にひびきます。とても豪華なゲストで素晴らしい講座でした。ありがとうございました ・女性が活躍してきたこれまでの事を聞いて、やっぱり女性の力はすばらしいと思いました。男性の視点からジェンダー平等 特に議会・政治の中の事を話していただいたの

は「男性にも変わってもらう（協力してもらう）」重要さを感じました。理解ある男性を増やしていくことも大切だと思いました。

・パネラーや基調講演などすべての方のお話に感動と進歩する実感を受けました。また これからも歴史をふまえ学び進みたいと思います。素晴らしい企画でした。ありがとうございました。

(一部抜粋)



シンポジウム

4人のパネリストがそれぞれの立場から女性の活躍について熱く語り合う



熱心に聞き入る参加者の皆さん



会場からも質疑 意見が活発に出される

写 真

共 催 (公財) おきなわ女性財団